

越中康治 (えっちゅう こうじ) (講師)

【論文】

- 山口修司・越中康治・中村多見・磯部美良・金山元春・前田健一 (2001). 子どもと青少年の問題行動と暴力に対する許容的態度 広島大学心理学研究, 1, 139-150. (平成 14(2002)年 3 月 28 日)
- 越中康治 (2001). 幼児の対人葛藤場面における第三者の行動 広島大学心理学研究, 1, 193-217. (平成 14(2002)年 3 月 28 日)
- 畠山美穂・磯部美良・越中康治・蔡 佳玲 (2002). 幼稚園女児にみられる関係性攻撃の被害者の行動特徴に関する研究—幼稚園での観察を通して— 広島大学大学院教育学研究科紀要 第三部 (教育人間科学関連領域), 51, 343-349. (平成 15(2003)年 3 月 28 日)
- 越中康治 (2002). 他児が泣いている場面における幼児の向社会的判断 広島大学心理学研究, 2, 159-169. (平成 15(2003)年 3 月 28 日)
- 越中康治・前田健一 (2003). モンゴル人幼児の異文化適応に関する研究 広島大学心理学研究, 3, 127-136. (平成 16(2004)年 3 月 28 日)
- 越中康治・中村多見・前田健一 (2003). 異年齢集団における幼児の社会的適応—月齢, 語彙, 社会的行動特徴, 攻撃タイプ— 広島大学心理学研究, 3, 137-145. (平成 16(2004)年 3 月 28 日)
- 越中康治 (2004). 制裁としての攻撃の正当性に関する幼児の認知 広島大学大学院教育学研究科紀要 第三部 (教育人間科学関連領域), 53, 277-284. (平成 17(2005)年 3 月 28 日)
- 越中康治・前田健一 (2004). 被分配者の努力要因が幼児の分配行動に及ぼす影響 広島大学心理学研究, 4, 103-113. (平成 17(2005)年 3 月 28 日)
- 越中康治・前田健一 (2004). 制裁としての攻撃の正当性に関する幼児の認知 (2) 広島大学心理学研究, 4, 115-128. (平成 17(2005)年 3 月 28 日)
- 山崎 晃・樟本千里・上田七生・若林紀乃・越中康治・小津草太郎・妹尾藍子・米神博子・松本信吾・林よし恵・臺 瑞穂 (2004). 教育課程編成のありかた (I) —幼小一貫教育課程編成に関わる要因の検討— 広島大学学部・附属学校共同研究機構研究紀要, 33, 99-106. (平成 17(2005)年 3 月 30 日)
- 畠山美穂・磯部美良・越中康治・山崎 晃 (2005). 攻撃の加害者と被害者の相互作用 幼年教育研究年報 (広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設), 27, 73-79. (平成 17(2005)年 3 月 31 日)
- 越中康治 (2005). 仮想場面における挑発, 報復, 制裁としての攻撃に対する幼児の道徳的判断 教育心理学研究, 53, 479-490. (平成 17(2005)年 12 月 30 日)
- 越中康治・滝下雅子・前田健一 (2005). 幼児の社会的適応と攻撃タイプ (1) 広島大学大学院教育学研究科紀要 第三部 (教育人間科学関連領域), 54, 281-288. (平成 18(2006)年 3 月 28 日)
- 越中康治・目久田純一 (2005). 幼児の社会的適応と攻撃タイプ (2) 広島大学大学院教育学研究科紀要 第三部 (教育人間科学関連領域), 54, 289-296. (平成 18(2006)年 3 月 28 日)
- 越中康治・江村理奈・目久田純一・前田健一 (2005). 幼児の自由な集団編成に及ぼす人気度と社会的行動特徴の影響 広島大学心理学研究, 5, 161-167. (平成 18(2006)年 3 月 30 日)
- 越中康治・鮎川純子・江村理奈・新見直子・目久田純一・前田健一 (2005). 攻撃場面における第三者の傍観行為に対する幼児の善悪判断 広島大学心理学研究, 5, 169-175. (平成 18(2006)年 3 月 30 日)

- 越中康治・藤澤康恵・新見直子・江村理奈・目久田純一・前田健一 (2005). 幼児の分配行動に及ぼす被分配者の努力・能力要因の影響 広島大学心理学研究, 5, 177-185. (平成 18(2006)年 3 月 30 日)
- 目久田純一・越中康治・滝下雅子・江村理奈・新見直子・前田健一 (2005). 怒りの鎮静に及ぼす対処方略の影響 広島大学心理学研究, 5, 187-194. (平成 18(2006)年 3 月 30 日)
- 山崎 晃・若林紀乃・越中康治・小津草太郎・米神博子・松本信吾・林よし恵・三宅瑞穂 (2005). 教育課程編成のあり方 (II) — 幼小一貫教育課程編成を阻害する要因の検討 — 広島大学学部・附属学校共同研究機構研究紀要, 34, 189-196. (平成 18(2006)年 3 月 30 日)
- 湯浅清治・平松敦史・増井知世子・吉田浩一・久山慎一・磯野美佳・伊賀泰恵・新治 功・溝上直美・前田健一・兒玉憲一・江村理奈・越中康治・滝下雅子 (2005). 中学校で行う集団社会的スキル教育の効果 広島大学学部・附属学校共同研究機構研究紀要, 34, 499-506. (平成 18(2006)年 3 月 30 日)
- 山崎 晃・杉村伸一郎・若林紀乃・越中康治・財満由美子・松本信吾・林よし恵・菅田直江 (2006). 幼小教育課程の編成のありかた— 幼小一貫カリキュラム編成に関わる学びと学習 — 広島大学学部・附属学校共同研究機構研究紀要, 35, 9-17. (平成 19(2007)年 3 月 20 日)
- 越中康治 (2006). 攻撃行動に対する幼児の善悪判断の発達の変化 広島大学大学院教育学研究科紀要 第三部 (教育人間科学関連領域), 55, 227-235. (平成 19(2007)年 3 月 28 日)
- 越中康治・目久田純一・淡野将太・前田健一 (2006). 制裁としての攻撃に対する幼児の善悪判断に及ぼす損害の回復可能性の影響 広島大学大学院教育学研究科紀要 第三部 (教育人間科学関連領域), 55, 237-243. (平成 19(2007)年 3 月 28 日)
- 越中康治・江村理奈・新見直子・目久田純一・淡野将太・前田健一 (2006). 幼児の社会的適応と攻撃タイプ (3) 広島大学心理学研究, 6, 131-139. (平成 19(2007)年 3 月 30 日)
- 越中康治・江村理奈・新見直子・目久田純一・淡野将太・前田健一 (2006). 幼児の社会的適応と攻撃タイプ (4) 広島大学心理学研究, 6, 141-150. (平成 19(2007)年 3 月 30 日)
- 目久田純一・越中康治・前田健一 (2006). 怒りの長期的な鎮静に及ぼす経験直後の強い怒りの抑制的影響— 敵意特性高群と低群の比較 — 広島大学心理学研究, 6, 157-162. (平成 19(2007)年 3 月 30 日)
- 越中康治・前田健一 (2006). 幼児の社会的適応と攻撃タイプ (5) 広島大学心理学研究, 6, 243-248. (平成 19(2007)年 3 月 30 日)
- 越中康治 (2007). 攻撃行動に対する幼児の善悪判断に及ぼす社会的文脈の影響— 社会的領域理論の観点から — 教育心理学研究, 55, 219-230. (平成 19(2007)年 6 月 30 日)
- 新見直子・前田健一・越中康治・淡野将太・松田由希子 (2007). 大学生のアイデンティティ・スタイルとキャリア発達の基礎スキル 広島大学大学院教育学研究科紀要 第三部 (教育人間科学関連領域), 56, 253-261. (平成 19(2007)年 12 月 28 日)
- 越中康治・新見直子・淡野将太・松田由希子・前田健一 (2007). 攻撃行動に対する幼児の善悪判断に及ぼす動機と目的の影響 広島大学大学院教育学研究科紀要 第三部 (教育人間科学関連領域), 56, 319-323. (平成 19(2007)年 12 月 28 日)
- 新見直子・川口朋子・江村理奈・越中康治・目久田純一・前田健一 (2007). 青年期における自己愛傾向と自尊感情 広島大学心理学研究, 7, 125-138. (平成 20(2008)年 3 月 31 日)
- 磯部美良・江村理奈・越中康治 (2008). 関係性攻撃を示す幼児に対する社会的スキル訓練 行動療法研究, 34, 187-204. (平成 20(2008)年 5 月 31 日)

- 越中康治・杉村伸一郎 (2008). 保育者の自然観はいかにして形成されるか? (1) —「森の幼稚園」の保育者が語る現在の自然観— 幼年教育研究年報 (広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設), 30, 49-59. (平成 20(2008)年 7 月 10 日)
- 近藤 綾・渡辺大介・大田紀子・伊藤祥子・小津草太郎・越中康治 (2008). 保育における自然体験活動でのオノマトペ表現に関する実態調査 幼年教育研究年報 (広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設), 30, 113-119. (平成 20(2008)年 7 月 10 日)
- 越中康治・小津草太郎 (2008). 幼稚園教諭をめざす学生の自然観 (1) 山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要, 26, 15-25. (平成 20(2008)年 9 月 25 日)
- 越中康治・杉村伸一郎 (2008). 保育者の自然観はいかにして形成されるか? (2) —熟達した保育者が振り返る新任の頃の自然観— 山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要, 26, 27-35. (平成 20(2008)年 9 月 25 日)
- 近藤 綾・渡辺大介・越中康治 (2008). 自然体験活動の中で見られる幼児のオノマトペの機能に関する一考察—観察事例による検討— 広島大学大学院教育学研究科紀要 第三部 (教育人間科学関連領域), 57, 305-312. (平成 20(2008)年 12 月 26 日)
- 松井剛太・越中康治・若林紀乃・樟本千里・藤木大介・上田七生・長尾史英・山崎 晃 (2009). 認定こども園のカリキュラムに関する課題と展望—エデュケア (educare) の概念からの検討— 幼年教育研究年報 (広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設), 31, 15-21. (平成 21(2009)年 7 月 21 日)
- 越中康治・白石敏行 (2009). 幼児教育学生の道德発達観に関する予備的検討—道德指導観に及ぼす幼稚園教育実習経験の影響— 山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要, 28, 1-8. (平成 21(2009)年 9 月 25 日)
- 藤木大介・上田七生・樟本千里・若林紀乃・越中康治・松井剛太・長尾史英・山崎 晃 (2011). 認定こども園への移行が保育者の保育観に及ぼした影響 梅光学院大学論集, 44, 11-21. (平成 23(2011)年 1 月 31 日)
- 越中康治 (2010). 体罰に関する大学生の信念に及ぼす意見交換の影響 宮城教育大学紀要, 45, 217-225. (平成 23(2011)年 2 月 18 日)
- 越中康治 (2011). 攻撃行動に対する幼児の善悪判断に及ぼす攻撃者の権威の影響 幼年教育研究年報 (広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設), 33, 97-103. (平成 23(2011)年 12 月 1 日)
- 越中康治・小津草太郎・白石敏行 (2011). 保育士及び幼稚園教諭と小学校教諭の道德指導観に関する予備的検討 宮城教育大学紀要 (宮城教育大学), 46, 203-211. (平成 24(2012)年 2 月 13 日)
- 越中康治 (2012). 幼児に対する体罰に関する高校生の信念に及ぼす意見交換の影響 幼年教育研究年報 (広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設), 34, 63-70. (平成 24(2012)年 7 月 30 日)
- 越中康治 (2012). 教育学部生の道德教育観と権威主義的伝統主義との関連 宮城教育大学紀要 (宮城教育大学), 47, 307-313. (平成 25(2013)年 1 月 24 日)
- 目久田純一・中岡千幸・越中康治 (2013). 保育者養成系学科に在学する短期大学生の授業評価基準—テキストマイニングの手法を用いた検討— 宮城教育大学情報処理センター研究紀要 (宮城教育大学情報処理センター), 20, 15-18. (平成 25(2013)年 3 月 31 日)
- 越中康治・若林紀乃・松井剛太・樟本千里・藤木大介・上田七生・長尾史英・山崎 晃 (2013). 認定こども園におけるカリキュラムの現状と今後の展望 幼年教育研究年報 (広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設), 35, 27-36. (平成 25(2013)年 7 月 31 日)

- 越中康治 (2013). 小学校教諭における道德教育のイメージと権威主義的伝統主義との関連—教職に就く前と現在のイメージの相違に焦点を当てて— 宮城教育大学紀要 (宮城教育大学), 48, 221-228. (平成 26(2014)年 1 月 27 日)
- 越中康治・廣瀬真喜子・松井剛太・朴 信永・若林紀乃・八島美菜子・山崎 晃 (2014). 障害のある幼児の保育に関する保育者の意見—テキストマイニングを用いた職種による特徴の検討— 宮城教育大学情報処理センター研究紀要 (宮城教育大学情報処理センター), 21, 33-38. (平成 26(2014)年 3 月 31 日)
- 越中康治・目久田純一 (2014). 懲戒と体罰の区別に関する学生の認識—テキストマイニングによる分析から— 宮城教育大学情報処理センター研究紀要 (宮城教育大学情報処理センター), 21, 39-44. (平成 26(2014)年 3 月 31 日)
- 越中康治 (2014). 幼児への体罰に関する保育者・教師の信念に及ぼす意見交換の影響 幼年教育研究年報 (広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設), 36, 13-21. (平成 26(2014)年 9 月 30 日)
- 越中康治・高田淑子・木下英俊・安藤明伸・高橋 潔・田幡憲一・岡 正明・石澤公明 (2015). テキストマイニングによる授業評価アンケートの分析—共起ネットワークによる自由記述の可視化の試み— 宮城教育大学情報処理センター研究紀要 (宮城教育大学情報処理センター), 22, 67-74. (平成 27(2015)年 3 月 31 日)
- 松井剛太・越中康治・朴 信永・若林紀乃・鍛冶礼子・八島美菜子・山崎晃 (2015). 保育者は障害児保育の経験をどのように意味づけているのか 保育学研究, 53, 66-77. (平成 27(2015)年 8 月 31 日)

【著書】

- 越中康治 (2010). 道徳性と向社会的行動の発達 無藤 隆・中坪史典・西山 修 (編) 新・プリマーズ／保育／心理 発達心理学 ミネルヴァ書房 pp. 98-109. (平成 22(2010)年 12 月 5 日)
- 越中康治 (2011). 子ども集団と保育の環境 清水益治・無藤 隆 (編) 新 保育ライブラリ 子どもを知る 保育の心理学 II 北大路書房 pp. 59-65. (平成 23(2011)年 3 月 25 日)
- 越中康治 (2012). 道徳性の発達 深田博己 (監修) 湯澤正通・杉村伸一郎・前田健一 (編) 心理学研究の新世紀③ 教育・発達心理学 ミネルヴァ書房 pp. 222-237. (平成 24(2012)年 3 月 30 日)
- 越中康治 (2013). 社会性の発達 (II 部 パーソナリティをライフステージから捉える 7 章 児童期 3 節) 二宮克美・浮谷秀一・堀毛一也・安藤寿康・藤田主一・小塩真司・渡邊芳之 (編) パーソナリティ心理学ハンドブック 福村出版 pp. 215-220. (平成 25(2013)年 3 月 20 日)
- 越中康治 (2013). 「効用説」「余剰エネルギー説」「休養説」「気晴らし説」「遊びの古典理論」「覚醒・追求としての遊び説」「能力・効力説」 小田 豊・山崎 晃 (監修) 幼児学用語集 北大路書房 pp. 12-15. (平成 25(2013)年 8 月 20 日)
- 越中康治 (2015). 攻撃行動—なぜ攻撃的にふるまうのか, そしてその対処法— 有光興記・藤澤 文 (編) モラルの心理学—理論・研究・道德教育の実践— 北大路書房 pp. 74-84. (平成 27 (2015) 年 3 月 20 日)
- 越中康治 (2015). 幼保小連携とモラル 有光興記・藤澤 文 (編) モラルの心理学—理論・研究・道德教育の実践— 北大路書房 pp. 143-153. (平成 27 (2015) 年 3 月 20 日)